

基本目標1 安心・安全でみんながいきいき暮らせるまち

1 - 1 みんなでまちの安全と潤いをつくります

基本目標と実現するための政策を示しています。

1 現状と課題

平成7年(1995年)の阪神・淡路大震災以来、新潟県中越地震、岩手・宮城内陸地震と各地で規模の大きい地震が発生し、また、各地で記録的な集中豪雨が人々の生活に甚大な被害をもたらしました。

このような災害の教訓に学び、災害に強いまちづくりを進めるためには、「自分の命は自分で守る」という考え方に基づく「自助」、災害直後の救出・救護において近隣住民が助け合う「共助」、応急活動体制の充実や自治体間の広域連携を充実していくなど、行政が主体となる「公助」が十分に機能することが課題となっています。

市の現状と課題を示しています。

2. 各主体の主な役割

【市民】

- ・「自らの命は自分で守る」という意識を持ちます。
- ・避難場所の確認や地域等で行う防災訓練等に積極的に参加します。
- ・災害発生時に各防災機関が行う防災活動に連携・協力します。

【自治会やNPOなど】

- ・地域の自主防災組織の結成や防災訓練の実施、防災資機材の整備に努めます。

【事業所】

- ・地域への貢献の役割を認識し、防災体制の整備や事業所の耐震化、防災訓練の実施に努めます。

【行政】

- ・市民の防災意識高揚のための啓発に努めます。
- ・避難所や避難経路の確保に努めます。
- ・崩壊の危険が予想される急傾斜地や河川の危険箇所等については、関係機関と連携して整備し、災害の未然防止に努めます。

協働によるまちづくりの指針として各主体別に課題解決のために担う役割を示しています。

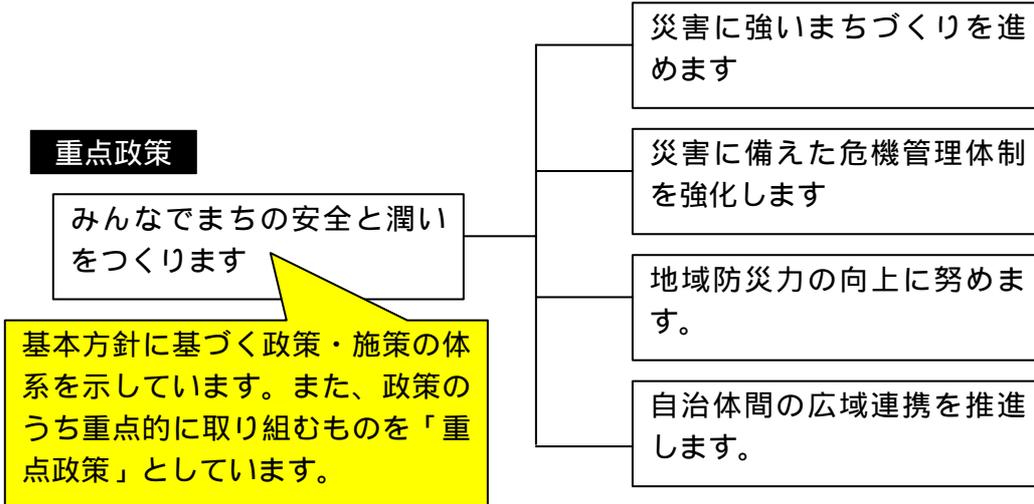
3. 政策の方向

(1) 基本方針

- ・市民、事業者、行政などがそれぞれの役割を果たしつつ、互いに連携することにより市民の誰もが安心して日常生活を送り、災害などが発生しても市民の安全が守られ潤いのあるまちづくりを進めます。
- ・市民生活を脅かすさまざまな災害等に対し、機動的かつ横断的に対応できる危機管理体制の強化を図るとともに、自治体間の広域連携を推進することにより災害発生時の被害を最小限に抑えます。

基本目標の実現に向けて市が進める基本方針を示しています。

(2) 政策・施策体系



(3) 施策の内容

- 災害に強いまちづくりを進めます
.....
- 災害に備えた危機管理体制を強化します
.....
- 地域防災力の向上に努めます。
.....
- 自治体間の広域連携を推進します。
.....

基本方針の実現に向けて市が行う施策について、その内容を記載しています。

基本方針の実現に向けて目標の明確化と施策評価に資する成果指標を示しています。
(各施策に対し1つ以上)

4 成果指標

成果指標名	主役度	現状値	目標値 (5年後)
地震等の災害に備えて対策をとっている市民の割合	市民 事業者 行政		
職員の非常時参集所要時間	市民 事業者 行政		
自主防災組織の結成数	市民 事業者 行政		
大規模災害時における相互応援等に関する協定等の締結数	市民 事業者 行政		

5 政策別事業費

	5年間(平成27年度まで)
総事業費	億円

財政推計をもとに政策ごとに計画事業の総枠を示しています。

【関連計画】

箕面市地域防災計画